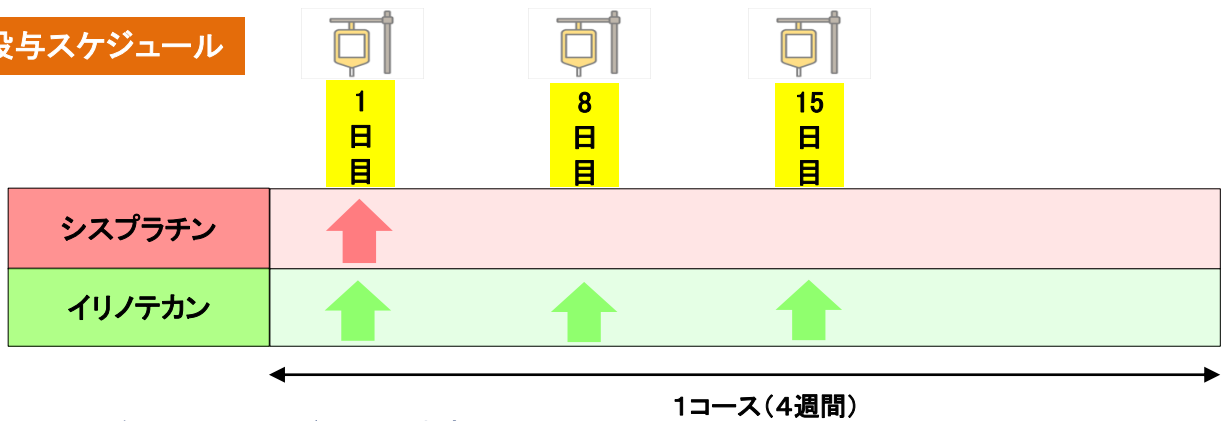


シスプラチン + イリノテカン療法を受けられる方へ

投与スケジュール



4週間を1コースとして繰り返します。

主な副作用と発現時期

次のような症状があらわれたら、医療スタッフにお知らせください。
※ 個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

治療当日～数日

●下痢(早発性) ●吐き気・嘔吐 ●腎障害 ●過敏症

治療数日～数週間

●吐き気・嘔吐 ●口内炎 ●下痢(遅発性)
●白血球減少 ●血小板減少

数週間～数か月

●耳鳴り・難聴 ●貧血 ●脱毛

◇白血球減少：発熱、寒気、のどの痛み、咳、頭痛

38℃以上の発熱がみられた場合は、すぐに受診してください。

外出時はマスクを着用し、人ごみを避けましょう。
手洗い、うがいをこまめにしましょう。

◇貧血：めまい、息切れ、疲労

赤血球が減少すると、めまいや立ちくらみを起こすことがあります。

激しい運動は控え、疲れを感じたら無理をせず休むようにしましょう。

◇血小板減少：血が止まりにくい、アザができる

血小板は血液を固める働きがあるため、減少すると血が止まりにくくなります。

ケガや転倒、打撲には十分注意し、歯磨きや鼻をかむときは優しく行いましょう。

◇口内炎

うがいをこまめに行い、普段から口の中を清潔にしておきましょう。

口内炎の痛みが強く食事や水分がとれなくなった時は、受診してください。

◇下痢

投与後24時間以内に現れる下痢と、数日～2週間後に現れてくる下痢の2種類があります。

下痢がある場合は乳酸菌食品の摂取を控えるようにしましょう。また、水分をこまめに摂り、温かくして安静に過ごしましょう。

1日4回以上の排便や水様便がみられた場合は、すぐに受診してください。

◇吐き気、嘔吐、食欲不振

なるべく水分を摂るようにし、消化の良いものや食べたいものを少量ずつ食べるようにしましょう。

◇腎障害：頭痛、尿量変化、むくみ、ふるえ、痙攣

腎障害は一度起こると重症であることが多く、治療を続けられなくなることがあります。

投与数日後は水分をできるだけ多くとり尿量を増やすことによって予防できます。

頭痛、尿量の変化、むくみなどの症状が少しでも出た場合は、医療スタッフにご相談ください。

◇耳鳴り・難聴

高音域が聞こえにくくなったり、耳鳴りなどの症状が出た場合は、医療スタッフにお知らせください。